# 新会員登録システム機能仕様書

新会員登録システム導入検討ワーキンググループ

1. はじめに

本書は、公益社団法人 日本放射線技術学会で新規に構築する会員登録システム機能仕様について記載する。

2. 前提条件

- 物理的なサーバ装置、インフラ環境については記載しない。セキュリティ面に関しては、委託業者が十分配慮した上で設計運用の担当を行う。ここにはデータ保全のためのバックアップも含まれるものとする。
- 基本的には 24 時間運用を行えるものとする。但し、保守メンテナンスの為の停止については許容するものとする。
- 現システムで利用しているデータのコンバートを行う。
- 外部サイト連携 API を必要に応じて開発できる設計を行う。
- データ項目に関しては容易に追加変更できる設計を行う。

3. 基本機能仕様

(1) メインフレーム（システム概要参照）

- 本学会の会員・非会員を問わずに利用登録を可能にする。[別紙：画面遷移_ユーザーを参考]
- 登録システムへのログイン ID は各自が任意に設定する（会員の場合、デフォルトは会員番号とする）。また、ログイン ID とは別に、登録システム独自の登録管理 ID を持つ。そして、その管理 ID は、管理者が利用できるものとする。
- 基本データとして、登録会員の氏名、住所、所属、連絡先、生年月日、会員の種別、メールアドレス、本学会の会員番号、所属地方部会、所属専門分科会、入会年度等を一括管理する。
- 基本的に利用会員の本学会への入金のすべてを管理し、その支払いは、クレジットカード決済、郵便振替、銀行引き落とし、銀行振込、コンビニ決済、現金支払いに対応。

(2) 会員の新入会および退会・休会について

- 本学会への新入会の申し込みは、本登録システム上での入会申し込み手続き＋年会費の支払い（クレジットカード決済、銀行引き落とし、銀行振込、郵便振替、コンビニ払い、現金払い）によって完了する。
- 本学会の退会・休会を希望する場合は、本登録システム上で退会・休会申し込み手続きを行い、所定の年会費が支払われていることが確認された時点で、退会・休会受け付ける。本学会を退会・休会しても本登録システム上のアカウントは継続して存続し、再入会を希望する場合は、本登録システムの入会手続きにより、会員籍が復活する。

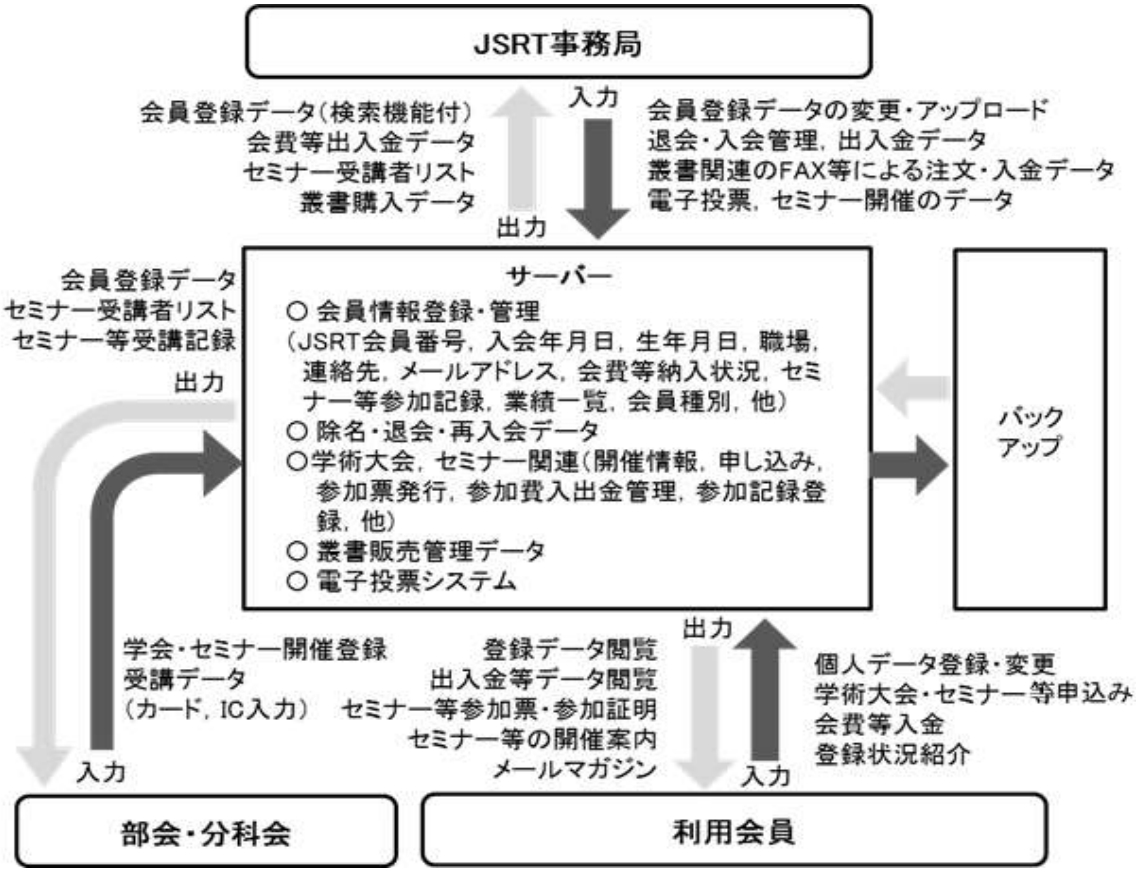


図　本学会の新会員登録システムの概要

(3)　会員登録データについて

・ 新システムは、現会員の登録データの新システムへの移行を含み、データ移行後は、新登録システムに自動的にアカウントが作成され、必要な情報はすべてアップロードされる。会員は仮のログイン ID（デフォルトは現行と同じ JSRT 会員番号）とパスワード（現行のまま）で本登録システムにログインし、登録内容を確認・修正する。
・ 現行の登録データ（JSRT 会員番号、入会年月日、生年月日、職場、連絡先、メールアドレス、会費等納入状況、会員種別等）以外のデータ（論文、学会発表等の自身の業績一覧、セミナー参加記録等）は利用会員が自分で入力を行う。
・ 会員は、地方支部や専門部会への登録・非登録について、本登録システムを利用して自分で追加修正することが可能。
・ 携帯電話やスマホのメールアドレスによる本登録システムへの登録は不可とする（gmail を推奨）。
・ 非会員が本登録システムを利用する場合は、会員登録に必要なデータをすべて自分で入力し、登録を完了させる。
・ 登録された会員データは、登録者自身で随時閲覧、変更、修正が可能。

(4)　年会費、専門分科会登録費、地方部会登録費の支払いについて

・ 会員は、最低 1 か所の地方部会への登録が義務付けられ、その地方部会登録費は年会費（¥15,000）に含まれる。
・ 支払金額はすべて自動で計算するシステムとする（未払い分、シニア、学生会員等）。

・ 2か所以上の地方部会への登録を希望する場合は、本登録システムで追加登録希望の地方部会を選択し、所定の地方部会登録費（¥2,000）を、本登録システムを利用して支払う。
・ 専門分科会への登録は、本登録システムで行い、所定の専門分科会登録費（最初の 1 つは¥2,000、2つ目からは¥1,000）を支払う。
・ 専門分科会の登録完了は、継続・新規登録に関わらず、当該年度の登録費の支払い完了時点とする。そして、その登録完了により専門分科会雑誌（電子版）の購読許可が発生する。
・ 継続会員に対しては、年度初めに年会費振込の通知をメールで発送し、前年度データを引き継いだ形で算出された年会費、専門分科会登録費、地方部会登録費（2 か所以上登録の場合のみ）をデフォルトで請求する。
・ すべての支払いに関して、本学会からの領収書を自動発行する。

(5)　クレジットカード決済の導入について
・ セキュリティ上の関係で、クレジットカード情報は、本登録システムには一切残さず、支払いの度にカード情報を入力する。
・ 見積書にはクレジットカード決済 API に関する提案を含める。
・ クレジットカード決済の際の手数料は、 1 件当たりの手数料（5 円程度）＋取扱額の 3%程度とする。
(6) セミナー、講習会等について
・ 本学会で主催するすべてのセミナー、講習会等（地方部会、専門分科会を含む）は、原則として、本システムで参加申し込みと参加費の入金、参加票の発行、参加実績の記録、出席証明書の発行を行う。
・ セミナー・講習会等の開催データは、その主催者が本登録システムにアクセスして、セミナー・講習会名、実施日、参加申し込み開始日、参加申し込み締切日、定員数、申し込み受付数、選択種別、会員種別の参加費用、等を入力する。
・ セミナー・講習会等の開催データの登録と同時に、任意に選択した対象（全会員、専門分科会登録者、地方部会限定等）に開催案内の発送が可能。
・ セミナー・講習会等の開催データの登録・データアップロードのための本登録システムへのアクセス権は、各専門分科会、各地方部会、について一つとし、専門分科会長、地方部会長に事務局からアクセスに必要なログイン ID とパスワードを発行する。
・ 参加申し込み者に対する参加者の決定は、先着順、抽選、任意に選別、ルールづけによる選別等の手段の選択が可能で、申し込み受付終了後に主催者が参加者の選別を行い（先着順を除く）、参加者リストを本登録システムにアップロードする。
・ 参加者リストがアップロードされた後、参加希望者に参加費用の支払いを請求するメールを本登録システムから発送する。参加費用の支払いは、クレジットカード決済、銀行引き落とし、銀行振込、郵便振替、コンビニ払い、現金払いを選択することが可能で、所定期間内に支払が行われない場合は、次点の参加希望者に参加費用請求のメールを発送する。
・ セミナー・講習会等の参加者が参加費用の支払いを完了すれば、本登録システムからの領収書とセミナー参加票のダウンロードが可能となる。セミナー参加票には QR コードが印刷され、セミナー・講習会の当日は、印刷した、もしくはスマホや携帯電話等に読み込んだセミナー参加票を提示することで、参加申し込みの可否の確認、参加実績の登録が自動的にオンラインで行われる。また、当日参加票を

忘れた会員であっても、本学会会員であれば、会員番号を入力する、または現行の会員カードのバーコードを読み取ることで登録確認が可能。

・ 利用会員は、セミナー、講習会等の出席履歴を本登録システムから自分で確認することが可能で、セミナー等に参加後は、出席証明書等を本登録システムからダウンロードすることが可能。

(7) データ管理について

・ セミナー参加や、叢書購入等の非会員への対応を考慮して、データベースは独立した登録者管理 ID を持つ。ただし、登録者管理 ID は利用者には知らせず、利用者は各自が決定したログイン ID（会員の場合、デフォルトは JSRT 会員番号）で本登録システムにログインする。
・ 事務局は事務処理に必要なデータを適宜、ダウンロードして取り扱う。
・ 事務局の管理運営に必要な会員検索機能を有する。
・ 各専門分科会、地方部会は、事前に与えられたアクセス権の範囲で、本登録システムに記録される個人データの中から必要なデータを抽出・ダウンロードすることができる。

(8) 賛助会員の取り扱いについて

・ 本登録システムでは賛助会員登録のためのデータは、事務局が作成したファイルを本登録システムにアップロードすることで対応する。

(9) 電子投票システムについて

・ 全会員、代議員、理事等、任意のグループを対象とした電子投票システムを導入する。
・ 電子投票システムは、二重投票を防止する機能、リマインダー機能を備える。

(10) 書籍・叢書等の販売について

・ 本学会で出版している書籍や叢書等の購入注文を本登録システムで受け付ける。
・ 購入代金の支払いが確認された時点で、購入申し込みデータが事務局に自動送付される。
・ 購入された書籍や叢書等の配送は事務局が行う。
・ 本機能の導入時期に関しては、会員登録システムの構築と導入を優先し、会員登録システムの導入が完了した後に、追加機能として導入することも可とする。

(11) 寄付金等の受付について

・ 本学会への寄付金を随時、本登録システムで受け付けることが可能。
・ 寄付金等の振込は、クレジットカード決済、銀行引き落とし、銀行振込、郵便振替、コンビニ払い、現金払いの全てを対象とし、免税対策に有効な領収書を発行する。

(12) セキュリティとバックアップについて

・ 本登録システムの個人情報の管理に関するセキュリティは、海外からのサーバアタック、個人情報漏洩を防ぐために常時最適化を図る。
・ 登録データのバックアップは、適宜実施し、ある一定の期間ごとにバックアップデータのハードコピー（DVD、HD 等）を作成し、適切な場所に保管する。

（13） 外部サイト連携 API について

・ 本登録システムは、将来、本学会以外の外部サイトとの情報連携が円滑に出来るような柔軟性を持つ設計であること。

ただし、外部サイトとの連携するための API 開発は、本仕様書の対象外である。

4. 参考資料

（1） 画面遷移_管理者

（2） 画面遷移_ユーザー

（3） 非機能要件